人権・同和教育参観日

令和８年９月２５日（金）

人権・同和教育参観日を行いました。みんなで集まって職員の劇を見たり子どもたちが歌をうたったりしたあと、各クラスで保育参画をして、身近な人権について考える機会をもちました。



ごはんを食べたら元気が出てきたよ！

子どもたちの歌　♪手のひらを太陽に





職員による劇



保護者の感想アンケートより

○　先生たちの劇は朝ごはんを食べることの大切さが子どもたちにも伝わりやすくて、とても楽しかったです。
○　笑顔で楽しく食べることの大切さについて親子で学び、考えることができました。
○　子どもたちが頑張って歌う声、元気な歌声に包まれて幸せな気分になりました。

保護者の感想アンケートより

○　幼稚園での子どもの様子や友達との関わりを間近で見られて嬉しかったです。また、我が子の素敵なところを保護者が発表する時間も、普段知れない友達の良いところが発見できて良かったです。
○　「好き」をテーマにたくさんの好きなものを描いて発表する姿がとてもかわいらしかったです。次の発表者を子どもたち自身が決めていくところも自主性が感じられて良いなと思いました。
○　友達の良いところに気付けるゲームが良かったです。
○　栄養バランス、好き嫌いなく食べることの大切さを子どもたちもよく理解できたと思います。家でも子ども自ら赤黄緑の食べ物の話をしています。





保育参画





講演会　＜ 演題 ＞　心の育ちと人権
＜ 講師 ＞　元松前幼稚園長　　石丸　幸子　先生



保護者・教職員を対象に講演会を行いました。それぞれが子育てを振り返ったり自分の関わり方や考え方を改めて見つめたりする機会となりました。

保護者の感想アンケートより

○　絵本「いのちをいただく」の話が心に残っています。人は命をいただいて生きているということを伝え続けたいし、感謝して過ごす環境を整えたいと思いました。
○　全体的にとても勉強になりましたが、特に印象に残ったのは部落差別についてです。今まであまり関心はなく、意識したこともないので差別の感情も無かったのですが、自分の暮らす町でも残っていることを教えていただき勉強になりました。